ことばと発達のサポートルーム

ゆうき

甲府市立善誘館小学校
通級指導教室　№ ６
２０１９年　３月　６日
TEL　２３２－３９６３
FAX　２３２－２４０３

ことばと発達のサポートルームとしての１年を振り返る

［１学期］

☆在籍校との連携

新年度のスタートにあたり，発達障害・情緒障害通級児の在籍校訪問をしました。授業中の様子を観察したり，担任の先生と情報交換を行ったりして，個々の実態や発達段階に応じたきめ細やかな『個別の指導計画』を作成しました。

これを各校や園にお送りし，『個別の教育支援計画』を作る際の参考としていただけるよう共通理解を図りました。

［夏季休業中］

☆医療・福祉との連携

発達障害・情緒障害児童が通っている医療機関（診療所小児リハ室）や福祉機関（放課後等デイサービス事業所）の療育見学と担当者同士の情報交換を行いました。在籍校訪問と同様にしっかりとした支援のネットワーク作りができました。

［２学期］

☆ことばの検査

甲府市内８校の１年生全員と２年生の希望児童合わせて**６３７**名を検査しました。その結果，何らかの課題が見つかった児童**１３１**名の保護者に通知を出しました。その内，**３９**名が相談のため来室し，通級を始められました。

☆愛着障害・口唇口蓋裂・発達障害・吃音等についての講習・研修参加

対応する障害の範囲が広がったため，様々な研修会に参加したり文献にあたったりして，担当者の専門性を高めました。

［３学期］

☆指導報告書作成・送付

１年間の指導の様子（指導内容・指導の成果・指導時間数等）をまとめ，通級児の在籍校や園にお送りしました。

［年間］**通級児８５名，**その内**２７名が修了，５８名が来年度に継続**です。
また，**来室相談７３名（小学生３９名，幼児３４名）**でした。

「ことばと発達のサポートルーム」とは・・・
どんな経緯で生まれ，どこに向かっているのか

「ことばと発達のサポートルーム　ゆうき」は，昨年度まで「ことばの教室」という名称でした。いつからあったのでしょうか？ちょっと教室の歴史を振り返ってみましょう。

教室の沿革史

１９６５年 （昭和４１年）	口蓋裂・脳性マヒ・知的遅れ・難聴などの子供を持つ親たちが山梨言語障害児親の会を結成し，県と市に言語治療学級の設置運動を進める。
１９６７年 （昭和４２年）	富士川小学校に「ことばの教室」を開設。（担当教員２名） 富士川小学校図書館を改造し，職員室と指導室各１室を設ける。
１９６９年	担当教員を４名に増員。
１９７３年	富士川小ことばの教室新築を「親の会」が甲府市に陳情。新築。
２０１１年	富士川小の統廃合に伴い，善誘館小学校（旧琢美小）に移転。
２０１４年	新田小学校ことばと発達のサポートルーム「すきっぷ」が新設
２０１６年	新紺屋小学校ことばと発達のサポートルーム「はばたき」が新設
２０１８年 （平成３０年）	伊勢小学校「えがお」と，善誘館小学校「ゆうき」が，ことばと発達のサポートルームとして再スタート。

今から５３年前，山梨で「ことばの教室を作ってほしい！！」という保護者の願いが結集して，親の会の運動が大変盛り上がったそうです。最近は発達障害に対するニーズも高まってきて，「ことばと発達のサポートルーム」となりました。

「通級指導」という形態は学校教育の中では特殊で，まだあまり知られていないのですが，子供達の健やかな成長と幸せを願って，きめ細かな教育サービスを提供するという使命は，創設当時から今まで脈々と受け継がれています。

教室担当教員４名は善誘館小学校に所属していますが，近隣８校の小学生とそこに入学予定の幼児を対象にしています。多くの子供達と保護者の方々に利用していただきたいと願っています。

今後も善誘館小「ゆうき」への，御理解と御協力をよろしくお願いいたします。